

どんなん  
こんな  
えーまち  
こなん 市



湖南市移住定住ガイドブック

「天然記念物ウツクシマツ自生地」



こなん市って  
どんなとこ？

そうそう、

山があつて、  
川があつて、

自然がいっふぱいで、  
けど、街は近いし、  
そんな田舎やないで。

ほんと、えーひと  
いっふぱいやから。  
きてな、湖南。

KONAN

湖南省は、江戸時代には東海道五十三次の51番目の宿場がおかれ、交通の要衝として古くから多くの人々が行き交う場所でした。

そこに、野洲川を中心に開けた自然豊かな平野・比較的温暖な気候環境が加わり、そこに集う人々とともに、さまざまな産業と文化が育まれてきました。

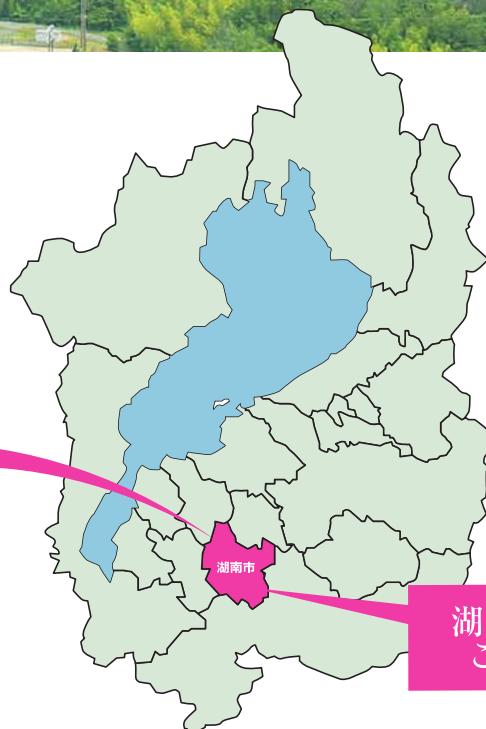
自然のめぐみに囲まれて、明るく温かいひとがいっふぱい、それが湖南省であり、湖南省の自慢です。



こなん市って  
どんなん？

都会でもない、田舎すぎない。  
**湖南市は  
こんなとこ。**

湖南市は豊かな自然に囲まれながら気候も  
よく住みやすいまちです。また、京都や大  
阪などの都市部からも近く、交通も便利な  
ところがあります。スーパー・や病院なども  
たくさんあり、普段の生活で不便を感じる  
ことはほとんどありません。都会でのライ  
フスタイルを変えずに家庭菜園などをしな  
がら、地域の人たちに囲まれて子育てや老  
後を送つてみませんか。



▼湖南市は琵琶湖の  
南にあります。

湖南市は  
ここ！

意外に便利！  
＼生活に困らない施設の多さ／

湖南市の端から端まで車で約30分！市内のどこの地域に住んでも、車で10分も走れば総合スーパー・やコンビニ、診療所があり、買い物や病気の時も安心です。

#### 医療施設

病院	診療所
----	-----

2か所	33か所
-----	------

#### スーパー・コンビニ

スーパー	コンビニ
------	------

9か所	24か所
-----	------

#### まちに欠かせないこにゃんバス



湖南市内では、駅と市街地をつなぐコミュニティバス「こにゃんバス」が大活躍！市民に愛されるバスです！

#### 湖南市の詳細

人口	54,460人 世帯数：22,498世帯（令和2年国勢調査/総務省）
面積	70.40km <sup>2</sup> （東西9.7km・南北12.3km）
標高	110m～693m
高齢化率 65歳以上の割合	約23%（令和2年国勢調査/総務省）
鉄道	JR草津線3駅（石部、甲西、三雲）

意外!?  
＼湖南市は若者が多いまち／



湖南市は平均年齢がなんと！45.2歳と全国的にも若く市民活動も活発で元気なまちです。（令和2年国勢調査/総務省）

実は!  
＼人口の3分の2が移住者!?／



湖南市は全国から移住で引っ越してきた人が3分の2いるまちです。昭和40年ごろと比べると人口が3倍！その分移住者の受け入れも安心です。

info KONAN





## 住みやすいまち、湖南市

自然災害の少ない  
ところです



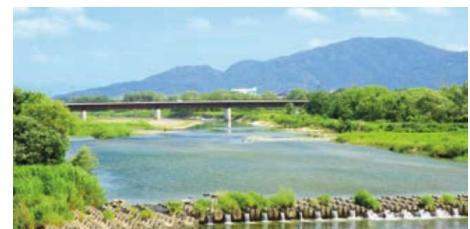
災害はいつどこで起こるかわかりませんが、湖南市は比較的災害の少ないところだと言われています。地域での防災訓練や消防団活動も積極的に行われており、しっかりと地域ぐるみで災害への備えを行っています。

夏も冬も穏やかで  
過ごしやすい気候



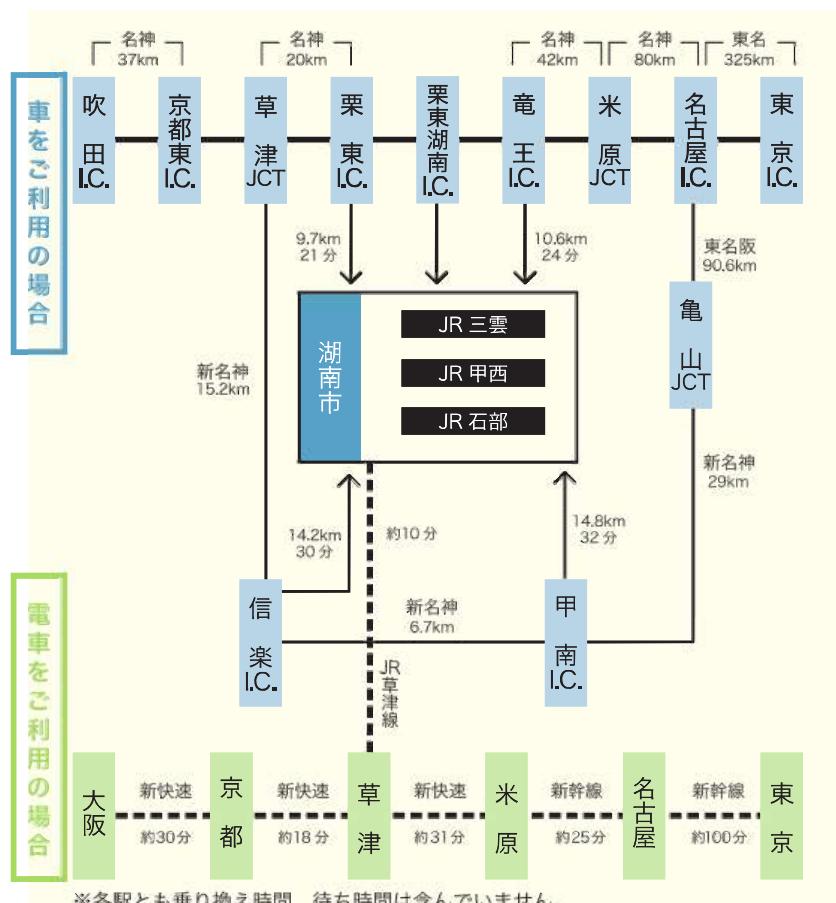
内陸性気候ですが、夏の暑さと冬の寒さは穏やかで過ごしやすい気候です。特に、雪が積もるのは年に2、3回程度で、屋根の雪おろしはほぼ必要ありません。

緑と水、山と川、自然に  
めぐまれた土地



市域は南側と北側から山にはざまれ、市の中央部は大きな野洲川が横断しています。そのまわりには平野が開け、水と緑にかこまれた自然に恵まれた場所です。市内の地形は、平地・丘陵・山林に分けられ、特に山林が全土地面積の5割以上を占めています。

### 湖南市周辺交通マップ



こなん市は  
便利！？

近隣都市へのアクセスがよく、  
短時間で京都・大阪への通勤が可能

湖南市は滋賀県南部に位置し、大阪、名古屋から100km圏内にあります。名神高速道路「栗東湖南インターチェンジ」、JR草津線「石部駅・甲西駅・三雲駅」があり、車・鉄道とともに移動には便利な場所です。車でも鉄道でも、京都までは約30分、大阪までは約60分とアクセスがよく、通勤・通学も可能です。また、名古屋には車で約90分で行くことができます。

■甲西駅から都市部への所要時間。



こなん市の  
イベント

## 湖南市の できごと いろいろ。

市民参加の推進や地域コミュニティへの支援など、市民主体のまちづくりを進めている湖南市。年間を通じてさくらまつり・夏まつり・東海道石部宿まつりなど、ユニークで魅力的なイベントがたくさん開催されます。地域との交流機会が充実しているのも、湖南市の特徴です。



夏まつり（8月）



泥りんピック（7月）



トレイルラン&ウォーク（4月）



東海道石部宿まつり（10月）



冬の酒蔵めぐり（2月）



さくらまつり（4月）



みちくさコンパス（11月）



こなん市の  
こんな人！

取材・文 / 西嶋 進一  
撮影 / 川村 憲太

ゆっくり時間が  
流れる町でカフェ。

海外・兵庫県からUターン

UPPER SECRET オーナー

たきした あかね  
滝下 茜さん

※UPPER SECRETとは「秘密にしておきたい、とっておきの場所」の意味。同名のバラもあり、さらに頭文字はU.S.いろんな想いが込められている。



湖南市のJR甲西駅近くに、UPPER SECRETという、オシャレなカフェがあります。お店のオーナーは滝下茜さん。平成24年にオープンしました。滝さんはアメリカで5年間、インテリアデザインを学びました。帰国後は芦屋のインテリア会社を経て、ふるさと湖南市へUターン。アメリカでは、カフェが交流の場になっていて、初めてでも常連のようにお店の人やお客さんが声をかけてくれたそうです。すぐに土地の生活になじむことができました。湖南市にもそんなお店をつくりたいと思つた滝下さん、アメリカンスタイルにこだわり、内外装を白で統一。すてきな「白いカフェ」をつくりました。メニューにもこだわりが溢れています。おすすめのランチメニューは地元産豚平とうがらしを使ったスペイシーなインディアン・チキンカレー。地域のグルメ大会、「弥平激辛サミット」で優勝した自慢のメニューです。あえてこのお店に来てもらえる、そんな魅力のあるお店にしたいと、滝下さん。湖南市のような、ゆったり時間が流れる町だからこそ、冷静に判断して自分のやりたいことを探していくと語ります。



「終活」が  
当たり前の社会に。

大阪府から移住

アキラ 代表

よしだ けんたろう  
吉田 健太郎さん

吉田健太郎さんは、大阪の不動産会社で働いていましたが、「売り上げがすべての世界」に疑問を感じ、田舎暮らしを希望。模索していたところ、湖南省の地域おこし協力隊員募集の情報を見つけて応募。採用されて、湖南市に移り住みました。市内に存在する空き家の活用をミッショーンとして活動する中で、吉田さんは「終活」の大切さに気付きました。終活（しゅうかつ）とは、人生の最期を迎えるにあ

※地域おこし協力隊とは、都市から田舎に移住して地域おこしの支援活動を行いながら、定住してもらう制度。湖南市の場合、3年間は市の援助で活動し、以後は独立して湖南市に定住するという仕組み。

たり、相続のことや残された家族のこと、またはお金のことなど、身の回りを整理する活動です。人生を振り返り、家族への想いを伝えたり、自分が生きてきた証をしっかりと後世に残したりするためにも必要な活動です。吉田さんは「終活アドバイザー」の資格を取得し、市内でセミナーを行い、終活の必要性・重要性を広く伝えられています。

心させる』、『残された家族を安  
心させる』、『自分の想いを後世  
に残す』、『自分の人生を振り返  
る』といったことを行うために  
必要な「エンディングノート」  
を出版されました。終活を軸と  
し、地域住民一人一人と向き合  
いながら、空き家問題や相続な  
どを含めた様々な面からの支援  
を行い、吉田さんが目指す社会  
を創り上げていきます。





こなん市の  
こんな人！

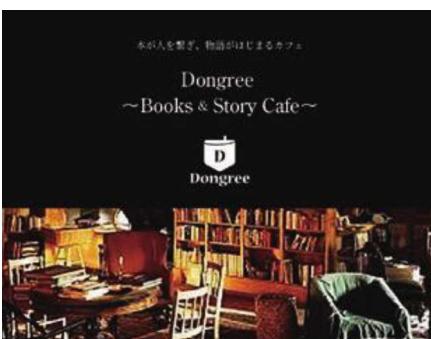
「心と心」が  
つながるプロジェクト。

#### 京都府から移住

##### 湖南市地域おこし協力隊

しばさき ゆうすけ ひろこ  
柴崎 友佑さん／寛子さん

柴崎 友佑（愛称：ドリー）さんと寛子（愛称：口コ）さんはご夫婦で地域おこし協力隊として、ドリーさんは「Book & Café」、口コさんは「タピオカ研究所」のプロジェクトを実現するために京都から移住されました。



「僕の事業 Dongree のことは、『顔の見える繋がり』と手うこと』。豊かな暮らしには、『ちょうど良い距離、と、ちょうど良い規模』の『リリコニティ』が重要だと考えていて、その実践の場として京都のお店を立ち上げ、また店舗運営と同時に野外でのマーケットイベントを幾つも主催してきました。僕は、京都のお店をスタート地点と捉えていて、なる活動のフィールドを目指して3年ほど経営していました。そんな折に出会ったのが、京都かのちょうど良い距離にある、お隣の滋賀県湖南市。第一印象は、



風景も町の営みも「フラット」なまち。野洲川を中心とした雄大な田園風景と、どこまでも広がる空は、京都の暮らしでは考えられないほどのスケールで、日々清々しい気持ちにさせてくれます。また、町のスーパーや飲食店なども、都市部に見られるような過度な密集は無く、それでいて生活インフラには十分な利便性を備えており、ほどよい距離感と規模感で「まちで暮らす人のための商い」という感じです。激しい集客競争や、派手な広告戦略などとは無縁に見え、どこかホッとさせてくれます。」

口口さんは、「タピオカ研究所」で湖南市にたくさん労働者として住んでいるブラジル人と多文化共生をテーマに、コミュニケーション作りの機会のきっかけを作ること。文化の違い、見た目の違いからなかなか交わるきっかけがない。食や音楽、スポーツを通じて何かできないだろうかと考え始め、まずはキヤッサバ芋の栽培、収穫を通じて収穫祭やマルシェを計画されています。キヤッサバ芋を使ったメニューをドリーさんのお店で提供できるようメニュー開発を進められしており、将来的にはお持ち帰りの商品も開発できればと意欲的に取り組まれています。



「結婚を機に多忙を極めた一線を退き、デザインのアルバイトからゆるやかにフリーランスデザイナーへ移行し、自宅で仕事を始めるようになりました。同時に、旦那さんが経営を始めたコーヒースタンドのお手伝いを始めました。ゆるゆると旦那さんの屋号で続けていたわけですが、いいかげん自分の事業として屋号をたてしつかり自立しなければ」と思う一方で、今まで同様に一人パソコンに向かうだけのデザイン業をしても、果たして楽しいのだろうかといった迷いもありました。何ができるのだろうか。何がしたいのだろうか。今までとは違う領域で、新たなチャレンジをしなければ。そんなタイミングで湖南市にやってきました。湖南市はのびのびと気持ちよく過ごせる場所です。空は広く、星はよく見え、風は気持ちよく吹く。都市過ぎることもなければ田舎過ぎない。今でも京都や大阪に仕事や遊びに出かけているし、車生活の滋賀でありながら自宅から徒歩数分の駅もある。隣近所にはよく気にかけてくれるご近所さん、同世代のご夫婦や世代を超えて相談できる人達。毎日が心地よく、楽しく暮らしています。何かをはじめようとすると、情報をくれる人もいます。程よい人との距離感があ

りを感じています。目立った観光地や施設は少ないけれど、外の人から見ると湖南市の良いところはたくさんあると思っていました。見落としていたり、価値を感じていなかつたり。こうあつたらいいのにと思える部分を少しずつ発見するようになりました。それらを引き出し、広く魅力を伝えることができるのです。」

#### 豊かな暮らしを実感できるまち ドリーサン

「僕は本当に豊かな暮らしに必要なのは、観光地でも特産品でもないと思っています。そこで“豊かさを感じて暮らす人”だと思います。行きすぎた経済成長やグローバリズムに疲弊する人が増えている現代社会では、その豊かに暮らす人の元にこそ、人は集まつくると信じています。京都と湖南を行き来する中で、県を跨いでいるとは思えないくらい近い印象を持ちましたし、実際に移動は苦になりません。静かな湖南の家と、賑やかな京都の両方を感じられる暮らしをしています。また、隣の京都だけでなく、高速道路により関西の都市部からのアクセスも比較的容易だという側面もあります。地方創生に重要なファクターとして、移住だけでなく“関係人口”や、“滞在が目的の旅人”



が全国で増えている昨今、集まるチャレンジャー次第で、如何様にも進化できる土壤が、ここ湖南市には沢山あると思つています。琵琶湖の南東に位置するこの豊かな町で、いま私はとても充実した暮らしを送らせてもらっています。それはお金だけでは得られない、自らの手を動かし得た者だけが得られる充実感であり、本当の豊かさと言えるのかかもしれません。」

### チャレンジできるまち

口々さん

「今まで机上で片付けていた課題を、足を使って直接人と会い、会話し、マチやコト目線で解決できれば。見落としがちな資源を見つけ出し、地域にとって良い循環となる仕組みを作り出

せねばと考えています。湖南市で活動する中で石部の旧東海道沿いのシャツターハー街の一つに自分のデザインスタジオを持ちたいと思うようになりました。自宅だと仕事と休憩のメリハリがつけ難いのと、籠りっぱなしで人と接点が失われてしまうため、地域に寄り添いながら存在する場所を作りたいです。また、この先、もっと多くの海外から働きに来る人が増えるかもしれない。ブラジルやそのほかの国の子供たち、大人達が孤立せずに、日本人も一緒にになって楽しめる場が作れたらと日々模索中です。湖南市が、新たなチャレンジに取り組みやすい町として、これからももっとおもしろい発想を持つた人が集まる町になつたらいいですね。」





こなん市の  
サポートは？

## 湖南市の 住み手への サポート。

豊かな暮らしやすい住環境をめざし、湖南市では地域・企業・行政の協働によって、住み手へのサポートを行っています。子どもを取り巻く環境、まちづくりなどのさまざまな施策を開拓していくまな産業振興、安心・安全なまちづくりなど、さまざまなニーズに対応するための取り組みを行っています。

### 01 子育て 子どもの育ちを 支えあう



#### 学童保育所

保護者の就労などの理由で、放課後や長期休暇中に保育する人がいない小学生を預かる学童保育所が開設されています。各小学校単位に実施しており、市内には公設学童保育所9ヵ所と私設学童保育所1ヵ所があります。その運営はNPO法人や運営委員会が行っており、地域で支えあい、それぞれ特色ある運営を行っています。

#### 保育園・幼稚園・認定こども園

市内には、認可保育園、小規模保育事業所等が11園と、幼稚園が2園、認定こども園が8園があり、各施設では地域のニーズに対応した幼児期の教育と保育を実施しています。また様々な支援を有するお子様とご家庭の支援にも取り組んでいます。一時保育（休日保育）や延長保育にも対応している施設があり、就労する保護者に配慮した保育など多様なニーズにも応え、質の高い幼児教育・保育を受けることができます。

#### ワンポイント

##### 一時預かりや延長保育も対応。

どうしても子どもを見つめたいときには、一時保育や休日保育を実施している保育園などがあります。

#### ファミリー・サポートセンター

子育ての手助けをしてほしい人とお手伝いしたい人の相互援助活動を有料で行う会員組織を運営しています。急用ができたときなど、臨時の子どもを預けることができます。

#### 子育てサロン

#### 親子で遊べる地域と交流の場

子育て支援センターのほかに、子どもを連れてゆっくりと遊べる場所が市内に数多くあります。小さい子どもも遊べるおもちゃなどがあり、子どもを遊ばせながら、地域の人と知り合い、おしゃべりをしたり、親子で交流できるところがあります。

#### 子ども家庭総合センター

各中学校区に設置しており、さまざまな悩みを抱える子育て家庭及び妊産婦に寄り添い、面談、家庭訪問等を通じて、継続的かつ包括的に子ども及び家庭を支援します。市役所に出向かなくても、お住いの地域のセンターで子育て支援コンシェルジュが相談を受けます。また、相談中は子供を遊ばせておくことができます。

### 02 教育 地域と共に 歩む学校



#### 地域に根差した小中学校

市内には、小学校が9校、中学校が4校あります。湖南市では小学校にコミュニティスクールといって、学校と保護者や地域住民が知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させるしくみがあります。学校と家庭、地域の人々と協力しあって教育活動に取り組んでいます。

#### ワンポイント

- ・市内の学校には広い運動場があります。
- ・通学路における見守り隊やスクールガードなどの地域ボランティアが充実しています。
- ・「湖南市発達支援システム」と連携しており、特別支援教育も充実しています。

#### 市民のくつろぎの場 図書館

市内には2つの図書館があり、合わせて36万冊の図書やCDなどの貸出をしています。また、自宅にいながらインターネットで本を検索・予約することができ、電子書籍も利用できます。移動図書館「マツゾウくん」も市内を走っており、本の貸出を行っています。



## 03 仕事

### 県内最大級の 工業団地と就労支援



湖南工業団地

#### 湖南工業団地

市内には県内最大級の工業団地「湖南工業団地」があります。工業団地では60社以上が操業しており、就労従業員数は約 5,300 人です。多くの湖南市民も湖南工業団地で就労しています。湖南市とも連携しながら、滋賀県の東南部における工業振興の中核工業団地として世界へ情報発信できる新しい企業団地づくりをめざしています。

#### 新規就農支援

市役所内には、新規就農者の相談窓口があります。農業協同組合・認定農業者等の協力を得ながら、新規就農者の相談に総合的に応じます。

#### 就労・創業支援

市役所内にある「チャンスワークこなん」で、就職が困難な人向けに職業相談から職業紹介をおこなっています。また、新規創業者のワンストップ相談窓口として、商工会・地域金融機関と連携し、創業時の課題解決を行っています。

## 04 医療・福祉

### いつまでも健康で 地域に根ざした医療



#### 医療機関

市内には4つの公的診療所があり、甲賀圏域の中核病院としての公立甲賀病院や民間医療機関との連携のもとに、「かかりつけ医」としての診療と在宅医療の充実を進めています。

#### 健康

いつまでも健康でいることが大切です。市民の健康づくりを推進するため広報、ホームページや湖南タウンメールによる情報提供とともに、健康まつりの開催、健康教育や健康相談、訪問などによる健康を自己管理するための支援を行っています。また、地域では、お互いに声を掛け合うことで生きがいづくりの輪を広げるなど、高齢者だけでなく様々な世代が参加しやすい取り組みが行われています。

## 05 安心・安全

### 安心・安全 その他の 地域一体となつた 防犯・防災体制



#### 防災・防犯

地域の消防団活動も活発です。市内全区に整備されている自主防災組織である「ふるさと防災チーム」は、地域で防災活動に取り組み災害に備えています。公共施設には防災倉庫を設置し、アルファー化米やカンパンの他、飲料水も備蓄しています。また、防犯体制としては不審者情報などタイムリーな情報については湖南タウンメールで随時配信を行い、地域安全サポーターの巡回活動を行っています。

#### 環境・エネルギー

湖南市は自然環境とエネルギーに関する取り組みがさかんなまちです。市内に太陽光を利用した発電所がつくられ、地域で生まれた自然エネルギーを地域で活用しています。恵まれた自然環境を活用するために、自然にやさしく、健康で快適な暮らしをめざしています。



発行  
令和五年四月

滋賀県湖南市



## 湖南市移住定住ガイドブック

発行者： 湖南市 / 〒520-3288 滋賀県湖南市中央一丁目1番地  
TEL : 0748-72-1290(代) FAX 0748-72-3390(代)  
URL : <http://www.city.konan.shiga.jp/>   
email : [info@city.shiga-konan.lg.jp](mailto:info@city.shiga-konan.lg.jp)  
発行： 第3刷：令和5年(2023年)4月